

あわじ荘だより

待望の面会が
はじまりました♪



「変えることと変えないこと」

あわじ荘所長 米田 知弘

4月1日付けで所長として着任しました米田です。

私自身は16年ぶりの淡路島としてあわじ荘勤務となります。

その間淡路島は随分と様変わりしています。あわじ荘の位置する野島地域、そして通勤路上で見える岩屋地域も、飲食・娯楽施設が次々と建設され、また、観光客と思われる方もたくさん来られており、すごく盛り上がりを感じます。

一方、あわじ荘内から16年前に見て感じた緑と潮風、そして夕日のコントラストは今も色褪せておらず、ノスタルジーな感慨にふける瞬間です。

さて、そのようなことを感じつつスタートした令和4年度ですが、自身に3つのミッションを課しています。

(1) ウイズコロナ時代におけるサービスの提供(対ご利用者)

新型コロナウイルス感染状況は一進一退を繰り返す中、少しずつではありますが「日常」を取り戻しつつある状況で、生活における制約を伴う感染対策とサービスの充実というある種相反する課題にどう立ち向かっていくかについて、職員間で十分に議論を重ねながら「より快適な生活」を実現していきます。

(2) 施設の魅力発信(対家族・地域住民)

面会の制限や行事の中止・延

期など、あわじ荘にお越しいただける機会が減少しているご家族、地域住民の皆さまに対して、SNS等を駆使して、施設で起きている「今」を見て、知っていただける機会を増やしていきます。

(3) ワクワクする体験の提供(対職員)

介護・福祉人材の確保・育成は、あわじ荘でも大きな課題となっています。そのような中、従事していただいている方、従事してみたいとお考えの方に対して「あわじ荘の仕事が面白い、楽しい」と感じてもらえるような体験を提供していきます。

具体的な施策については、随時広報誌やウェブサイトで、SNSで発信していきますが、ご意見、ご希望、ご提案等ありましたらいつでもお問い合わせください。

冒頭にも触れましたが、時代は確実に流れています。一方で、大切にし続けなければいけない自然・文化なども確実にあります。新しいことに対して恐れずに立ち向かっていく「チャレンジ精神」と、昔から日本にある思いやりや自然環境との共生を通じて培われた「人、文化、自然を大切する心」を持って職員一丸となって取り組んでいきます。

よろしくお願い致します。

ご利用者の
日々の活動・様子

何ができるのかな？



ジャガイモ餅
おいしいわ



あじさい。
きれいに
咲いてるよ



めでたい
誕生日!!



ジャガイモ餅
うまく焼けたかな



鯉のぼり。
うまく
泳いでくれよ



中庭散歩。
気持ちいいですね



桜と私、
どっちが
キレイ!?



壁画作り。
上手に塗れるかな



ほがらか
デイサービス



ほがらかデイサービスでは、のんびりとした雰囲気の中、ご利用者同士が触れ合え、達成感や充実感が味わえるように支援を行っています。

リハビリ
デイスマイル



「リハビリで元気パワーアップ」「レクリエーションであふれる笑顔」日々の健康づくりを支援します。

面会について



新型コロナウイルス感染拡大防止のため長期にわたって直接面会を制限していましたが、新たに整備した面会室にて5月16日(月)からご利用者とご家族の面会を再開しました。面会室は淡路市の整備事業補助金を活用したもので、出入口を2か所設置するなど、感染拡大防止に配慮した設計となっており、南・北両街に一室ずつ設置しています。

さっそく面会にお越しいただき、アクリル板越しではありますが、久しぶりの対面にご本人も満面の笑顔を見せられ、ご家族もお元気な姿に安心されたようでした。

面会の予約方法などはホームページにも記載しています。お気軽にお問合せ下さい。



ひょうごノーリフティングケアモデル施設認定を受けました

総合リハビリテーションセンター福祉のまちづくり研究所でノーリフティングケアマネジメント研修を修了し、今年度よりノーリフティングケアモデル施設認定を受けました。認定期間は、令和4年4月1日～令和7年3月31日です。

以下の3つの目標を掲げノーリフティングケアに取り組んでいます。

- 1 全職員が「誰もが安心して安全に働ける職場をつくる」「対象者も安全で安心してケアを受けられる職場をつくる」という目的を理解し日々の業務で意識して実践します。
- 2 全職員が腰痛予防を意識しどんな作業が腰痛を引き起こすか、環境等の改善すべきところに気付き提案ができるようにします。
- 3 全職員のノーリフティングケアの技術(職員は抱えない・持ち上げない・引きずらないケア)の向上を図るとともに、指導者を育成します。



防ぎましょう 高齢者の脱水



高齢者は、若い方より筋肉量が少なく、体内の水分量が減っているので、水分補給はとても大切です。気温が上がり、体から水分が失われやすい夏場の時期は、特に意識してください。

高齢者の場合、1日に1L以上は、飲み物からとるようにしましょう。1日に必要な水分量は2～2.5Lですが、しっかり食事がとれていれば、1Lは食事から摂取できます。(食事が低下している場合は、飲み物をより多めにとることが必要です)

年齢を重ねると、喉の渇きを感じにくい、のみこみが難しい、病気や薬等の影響で尿量が増える、トイレへの不安がある等の問題も出てきやすいため、十分な水分をとることは簡単ではありません。不足しがちな方には、水分の種類を問わず、こまめに水分補給の機会を作り、摂取量が増えるよう工夫してみてください。

「くだもの」や「ゼリー」は、ほぼ水分でできているので、「飲み物」に置き換えて、積極的に摂取することも良いでしょう。(管理栄養士)



恒例の定期結核検診 (胸部レントゲン撮影)を終えて



ご利用者の健康管理の一環として、毎年6月に行っている「定期結核検診」を今年も6月7日(火)に行いました。天気は晴れていましたが、少し風が吹いて、いつもより肌寒い感じでした。

利用者の方は、外に出て、レントゲンバスに乗り込み、いつもと違う感じに戸惑う場面もありましたが、「ええ天気やな」「雲がきれいね」「緑はええな」など検診の合間に景色をみて喜ばれるご利用者も多かったです。

結果は、要検査・要治療のご利用者のみ、ご家族にお知らせしております。



転入・新人職員紹介

あわじ荘では、今年度も新たなメンバーを迎え、ご利用者の支援に取り組んでいます。各職員の個性やチームワークを大切にして、少しでもご利用者に満足いただけるように、あわじ荘を盛り上げていきますので、よろしくお願いいたします。

看護師



尾曲 彌生

事務所



所長
米田 知弘



主事
池田 竜也

支援員



宮脇 崇彰



金元 賢太

支援員



北山 大樹



村木 己磨



長畠 恵美



拜原 雅子



井高 年代

スタッフ 大募集!!

お持ちの専門性・特技を活かせる環境がここにはあります。業務内容、資格の有無等丁寧にご説明します。

- ◆ 週1日～/1日3時間程度～
- ◆ 介護・支援スタッフ (常勤・非常勤)
- ◆ 夜間専門介護スタッフ (非常勤)
- ◆ 看護スタッフ (常勤・非常勤)



まずはお問い合わせ下さい。

担当 / あわじ荘総務課：生田・池田まで



おんせんと
うまいもんで
おもてなし

浜坂温泉保養荘

〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775

☎ 0796-82-3645

1泊2食 7,500円～
※65歳以上(平日)

編集後記

新型コロナウイルス感染症もまだ予断を許さない状況ではありますが、今年度も工夫しながら様々な活動を通してご利用者を支援し、その様子を発信していきたいと考えております。

これから暑い日が続くと予測されますので、熱中症など健康に留意してお過ごしく下さい。

編集担当より

発行 / 社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団あわじ荘
〒656-1727 兵庫県淡路市野島貴船229-1
TEL 0799-82-1950 FAX 0799-82-1754
E-mail info_awaji@hwc.or.jp
ホームページ <https://www.hwc.or.jp/awaji/>

※写真の掲載については、ご本人の同意を得ております。